

第 2 期

家族支援士・家族相談士のための
体験で学ぶブリーフセラピー

9月にスタートした本セミナーは受講希望者多数により、同内容で第2期を企画しました。奮ってご参加ください。

毎回、参加者の問題をとりあげシミュレーション面接の体験を入れてブリーフセラピーの技法と考え方を学ぶ講座を企画しました。葛藤を抱えた家族同士、共に面接をする「合同面接」とブリーフセラピーからの介入の要を実習します。この講座は、殊に協会付属の家族支援室「家族支援カウンセリング・ルーム」のケースを担当するための基礎的訓練の一環としても捉えています。奮ってご参加ください。

(講師記)

主 催

NPO 法人日本家族カウンセリング協会

対象者

協会認定家族支援士、家族相談士の資格者

日 時 土曜日 13時30分～16時30分

| H.31 年 | | | |
|--------|----|-----|-----|
| 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
| 9日 | 9日 | 13日 | 11日 |

会 場

NPO法人日本家族カウンセリング協会 研修室
杉並区梅里 2-40-16-7F
東京メトロ丸の内線南阿佐ヶ谷駅徒歩 6 分
JR阿佐ヶ谷駅南口徒歩 16 分

受講料 (税込)

会員：25,920 円 / 一般：30,240 円

申込方法

裏面をご覧ください

問合せ先

NPO 法人日本家族カウンセリング協会事務局
[住所] 東京都杉並区梅里 2-40-16-7F
[TEL] 03-3316-1955

その他

全回出席した方には修了証を発行し、家族相談士(心理士)継続
研修実績 2P の対象となります。

学 ぶ 視 点

- ① ブリーフセラピーとファミリーセラピーの大共通点
- ② ロジャーズの位置づけ
- ③ 個人療法を越えるということ
- ④ ブリーフセラピーの命名者の思想「テニスラリーの比喻」
- ⑤ ブリーフに！MRI と SFA
- ⑥ 構成主義
- ⑦ チームカウンセリング
- ⑧ 副カウンセラーの「百人力」

講 師

長谷川 啓三 先生

家族心理士、臨床心理士
東北大学名誉教授
日本家族カウンセリング協会理事長
米国 MRI(家族療法の発祥地)日本代表
日本笑い学会創設 36 人衆

お申し込み方法

① お申し込みの受付

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、締切日までに、**FAX** か **郵送** でお申し込みください。(先着順)

締切日 平成30年 **12月15日(金)**

FAX 03-3316-1956

郵送 NPO法人日本家族カウンセリング協会事務局
〒166-0011 東京都杉並区梅里 2-40-16-7F

② 受講のご連絡

講座成立後、参加費等のご案内をお送りいたします。
定員に達した場合はその旨ご連絡いたします。

■ **定員 18名**
(8名以上で講座成立)

■ キャンセルについて

- ・申し込み書送付後、参加できなくなった場合には、**必ずキャンセルのご連絡**をお願いします。

■ その他

- ・会場内でのカメラやレコーダー等を使った撮影、録音などはお断りしています。

申 込 書

第2期 家族支援士・家族相談士のための体験で学ぶブリーフセラピー

H30年 月 日

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| ふりがな 氏 名 | | <input type="checkbox"/> 日本家族カウンセリング協会会員 <input type="checkbox"/> 一般 |
| 住 所 | 〒 | 資格 <input type="checkbox"/> 協会認定家族支援士 <input type="checkbox"/> 家族相談士 |
| 携帯番号 | | |
| メールアドレス (書類添付が 可能なアドレス) | | |
| 職 業 (活 動) | | |